

川崎区区民アンケート調査 概要版

調査の概要

調査設計	●調査対象	川崎区在住の満20歳以上の男女個人（外国人市民を含む）
	●標本数	2,000標本
	●標本抽出	住民基本台帳及び外国人登録原票に基づく層化二段無作為抽出
	●調査方法	郵送配布—郵送回収法
	●調査期間	平成21年11月27日～12月11日
	●有効回収数	603標本
調査項目	●有効回収率	30.2%
	①川崎区役所の広報について	
	②川崎区役所の利用状況について	
	③川崎区役所のサービスについて	
	④地域活動や地域に関する課題について	
	⑤川崎区区民会議について	

※基数となるべき実数（n）は、設問に対する回答者数です。また、本文中の「百分率」は、小数点第2位以下を四捨五入してありますので、数値の合計が100%にならない場合があります。

川崎区では、区民の皆様が区役所に対して感じていること、地域活動に関する意識などを調べることにより、地域の課題を把握し、課題解決に向けた取り組みの参考とさせていただきたいため、アンケートを実施させていただきました。

アンケート結果の詳細の報告については、区のホームページに掲載しているほか、下記までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

調査担当課 川崎区役所 企画課

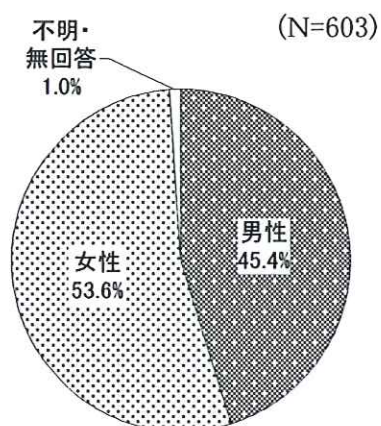
〒210-8570 川崎市川崎区東田町8番地

電話：044-201-3267（直通）

平成22年3月 発行

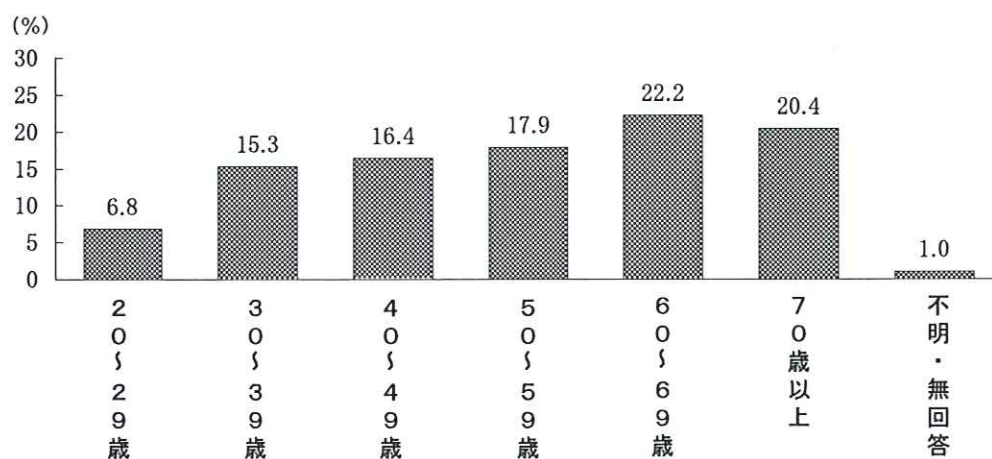
1. 回答者の属性

(1) 性別



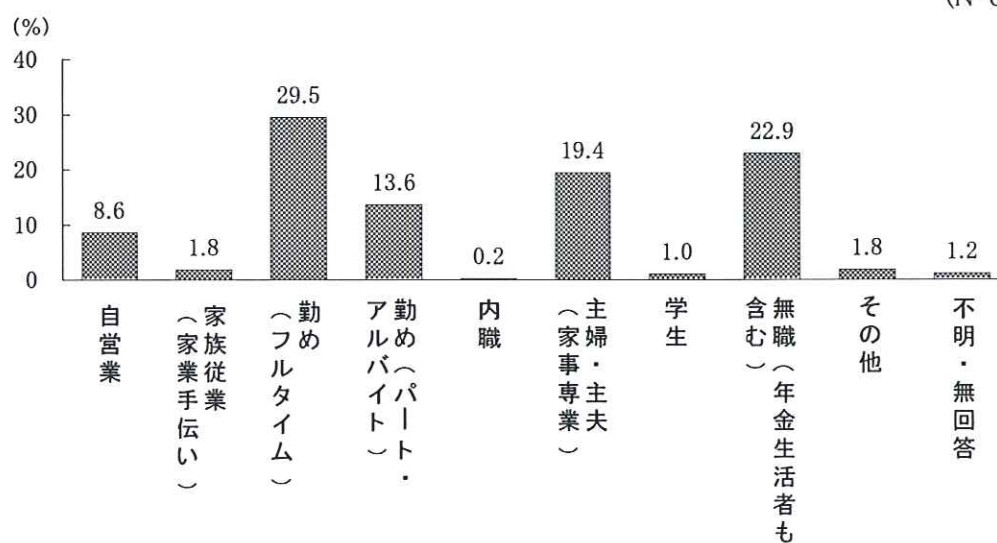
(2) 年齢

(N=603)



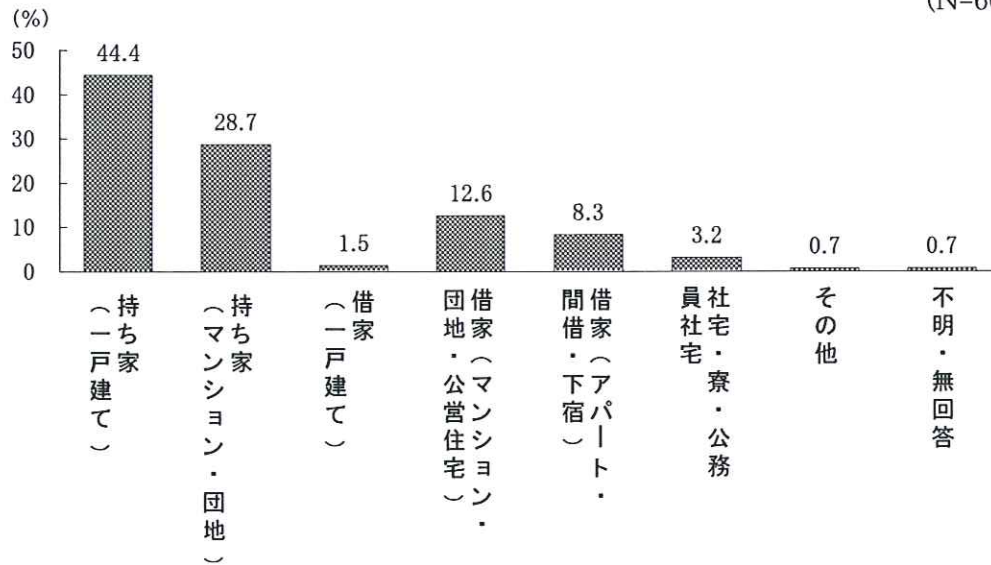
(3) 職業

(N=603)



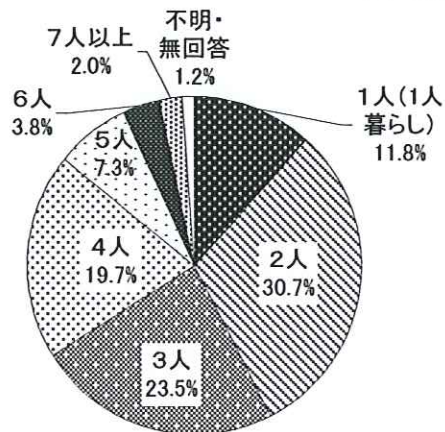
(4) 居住形態

(N=603)



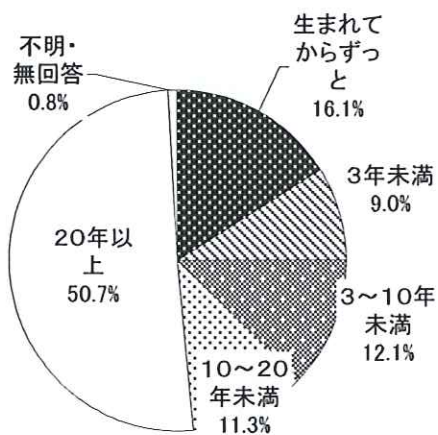
(5) 同居人数

(N=603)



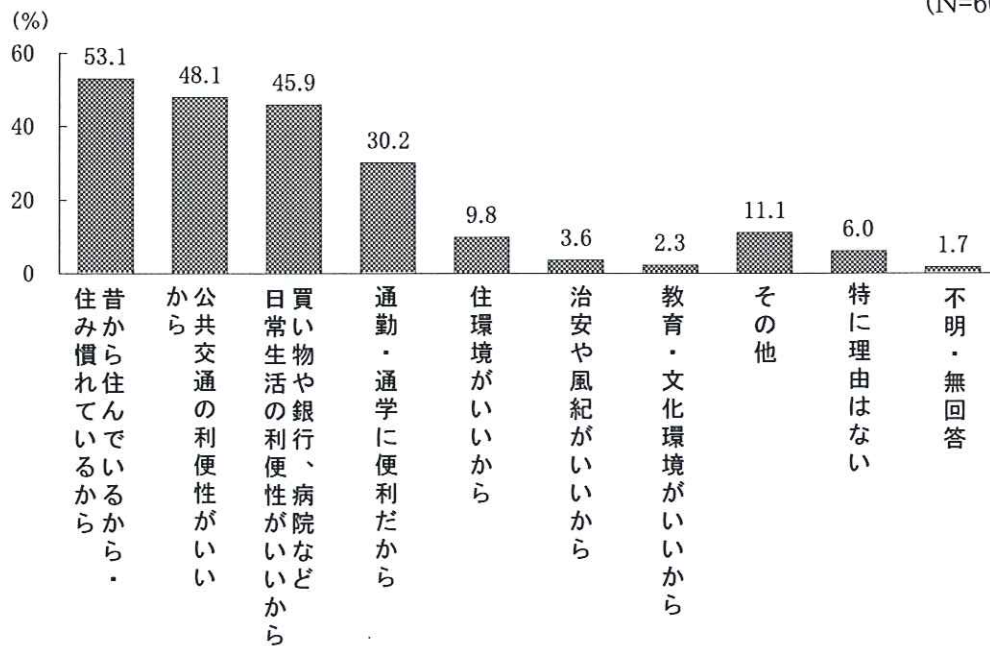
(6) 居住年数

(N=603)



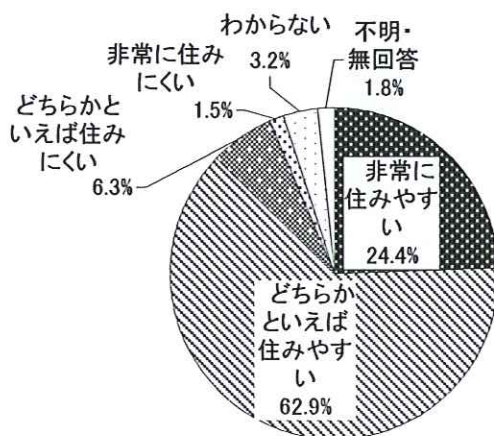
(7) 川崎区に住んでいる理由

(N=603)



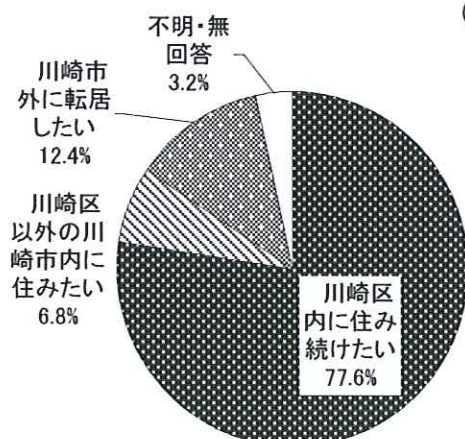
(8) 川崎区の住みやすさ

(N=603)



(9) 今後の定住意向

(N=603)



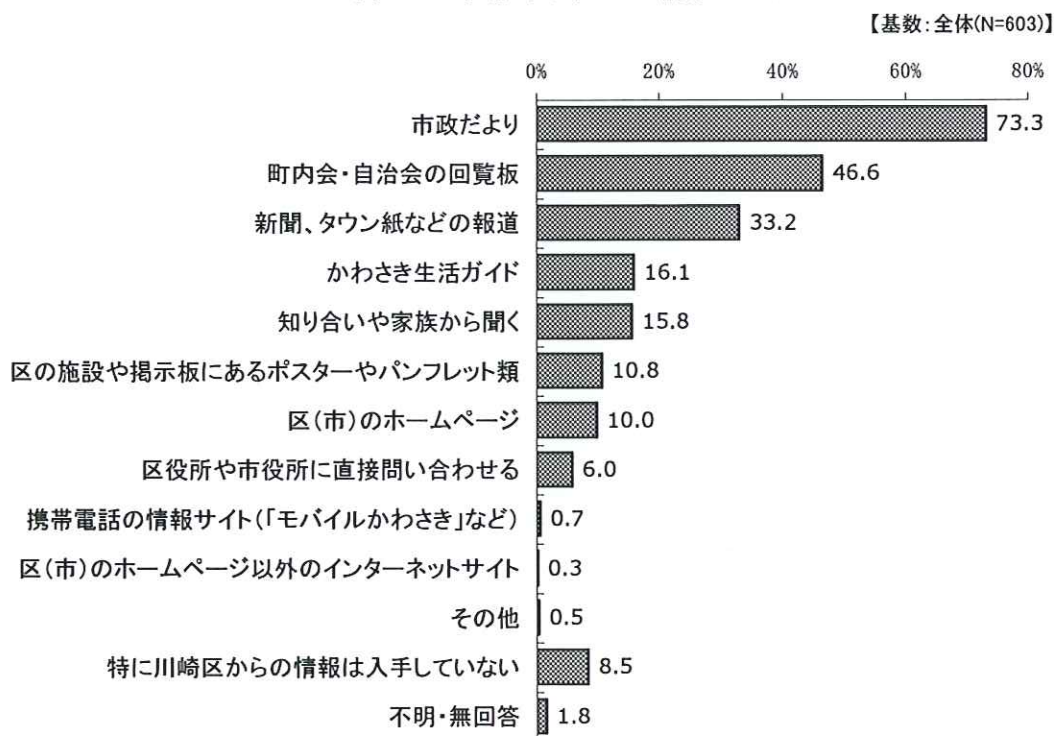
2. 各質問項目毎の要約

① 川崎区役所の広報について

川崎区役所からの情報の入手ルート

川崎区役所からの情報の入手ルートは、「市政だより」（73.3%）が7割を超え最も多く、次いで、「町内会・自治会の回覧板」が46.6%となっている。（図2-1）

図2-1 川崎区役所からの情報の入手ルート

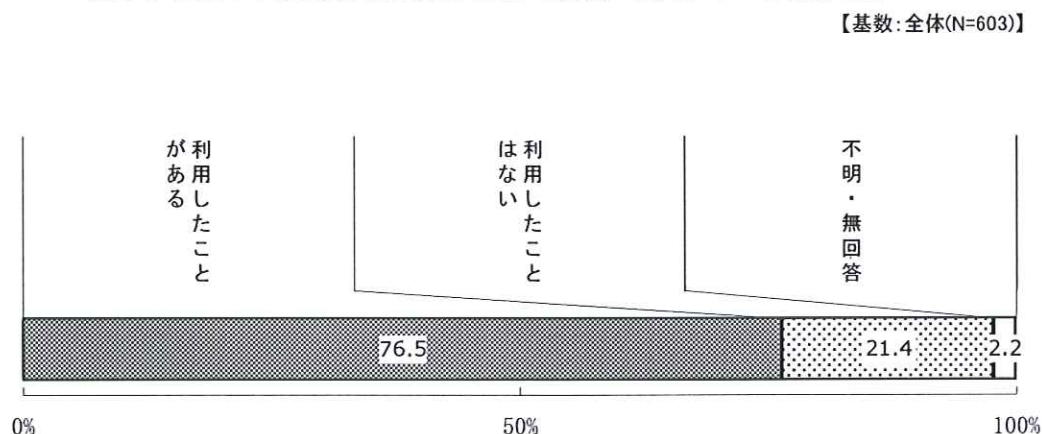


② 川崎区役所の利用状況について

(1) 直近1年間における区役所・支所・行政サービスコーナーの利用有無

最近1年の間に、川崎区役所・大師支所・田島支所・川崎行政サービスを「利用したことがある」と回答した人の割合（76.5%）は7割台半ばとなっている。一方、「利用したことはない」と回答した人の割合は、21.4%となっている。（図2-2）

図2-2 直近1年間における区役所・支所・行政サービスコーナーの利用有無

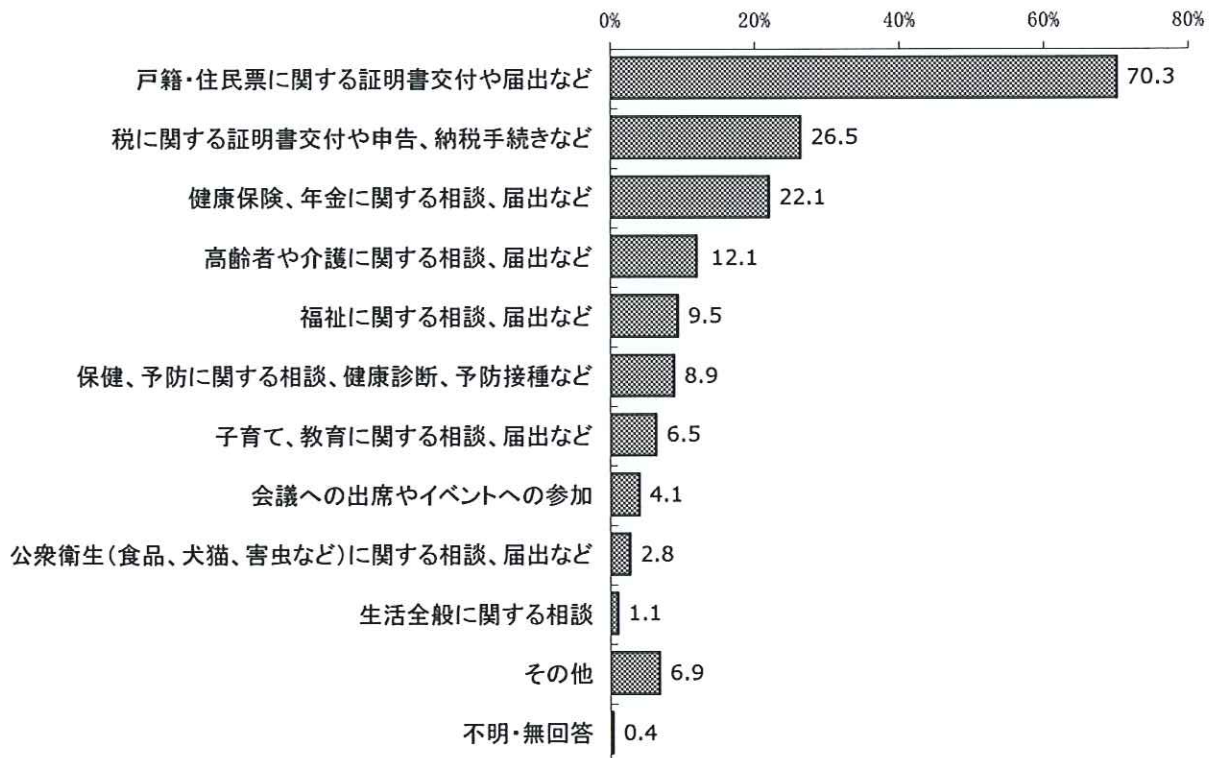


(2) 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的

区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的としては、「戸籍・住民票に関する証明書交付や届出など」（70.3%）が7割で突出して多くっており、次いで、「税に関する証明書交付や申告、納税手続きなど」が26.5%、「健康保険、年金に関する相談、届出など」が22.1%となっている。（図2-3）

図2-3 区役所・支所・行政サービスコーナーに行った目的

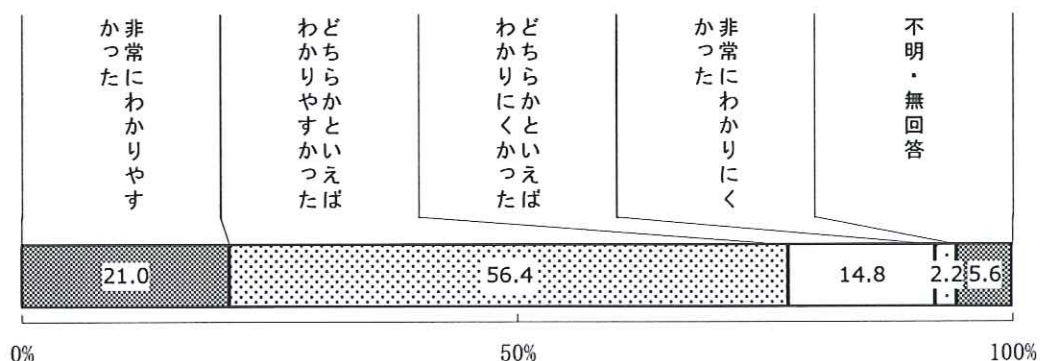
【基数：利用経験者(N=461)】



(3) 窓口の場所のわかりやすさ

窓口の場所について、「どちらかといえばわかりやすかった」（56.4%）と「非常にわかりやすかった」（21.0%）をあわせた『わかりやすかった』と回答した人の割合（77.4%）は、約8割弱となっている。一方、「どちらかといえばわかりにくかった」（14.8%）と「非常にわかりにくかった」（2.2%）をあわせた『わかりにくかった』と回答した人の割合（17.0%）は約2割弱である。（図2-4）

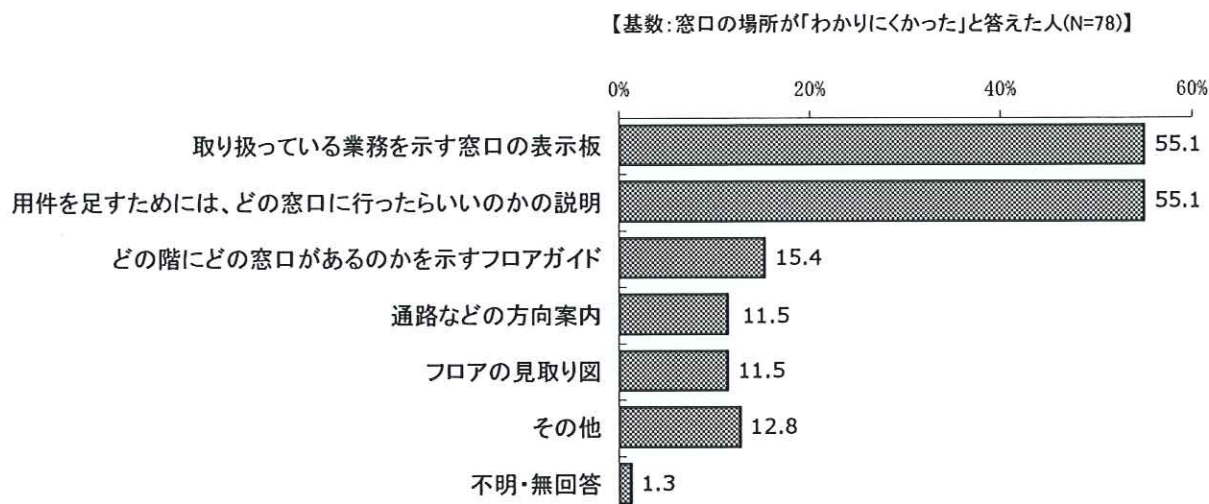
図2-4 窓口の場所のわかりやすさ 【基数：利用経験者(N=461)】



(4) 窓口が「わかりにくい」と感じたところ

窓口の場所が「わかりにくい」と感じたところは、「取り扱っている業務を示す窓口の表示板」と「用件を足すためには、どの窓口に行ったらいいのかの説明」が55.1%で並び、特に多くなっている。(図2-5)

図2-5 窓口が「わかりにくい」と感じたところ

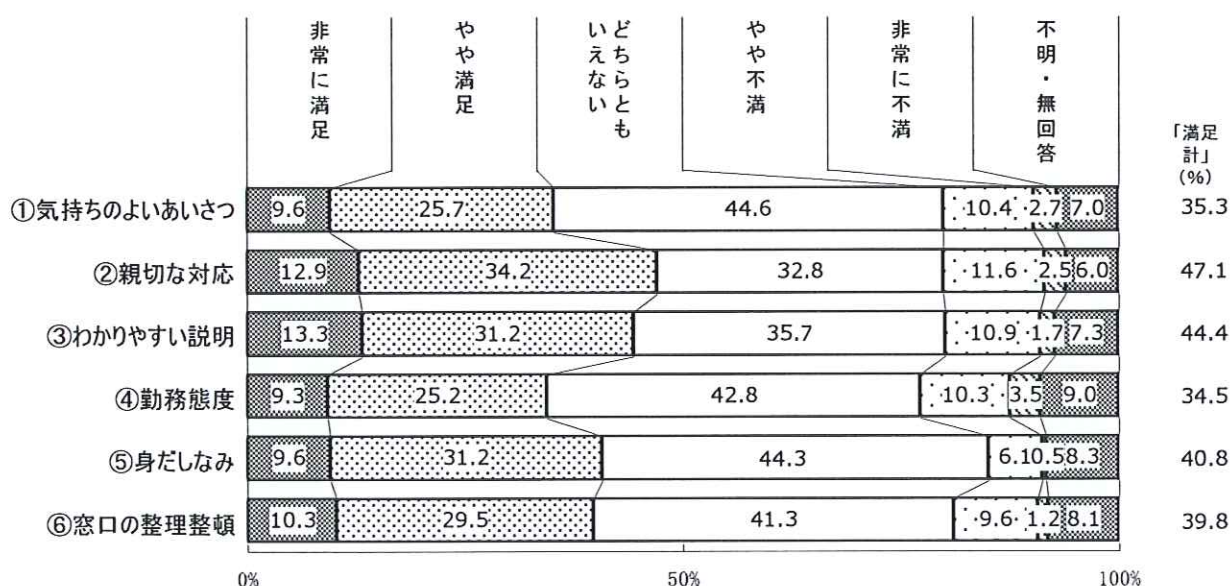


③ 川崎区役所のサービスについて 職員の対応についての満足度

「非常に満足」と「やや満足」をあわせた『満足』と回答した人の割合が最も多いのは、「②親切な対応」(47.1%)である。一方、「④勤務態度」は、「やや不満」(10.3%)と「非常に不満」(3.5%)をあわせた『不満』と回答した人の割合(13.8%)が、他の項目に比べ多くなっている。(図2-6)

図2-6 職員の対応についての満足度

【基数: 全体(N=603)】



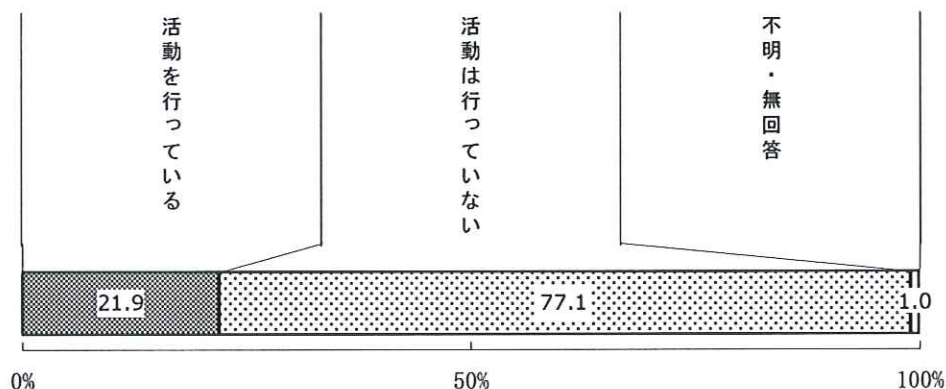
④ 地域活動や地域に関する課題について

(1) 地域活動（団体、ボランティア活動、サークルなど）の活動状況

地域活動（団体、ボランティア、サークルなど）の「活動は行っていない」人の割合（77.1%）は約8割弱を占め、「活動を行っている」人の割合は21.9%となっている。（図2-7）

図2-7 地域活動（団体、ボランティア活動、サークルなど）の活動状況

【基数：全体(N=603)】

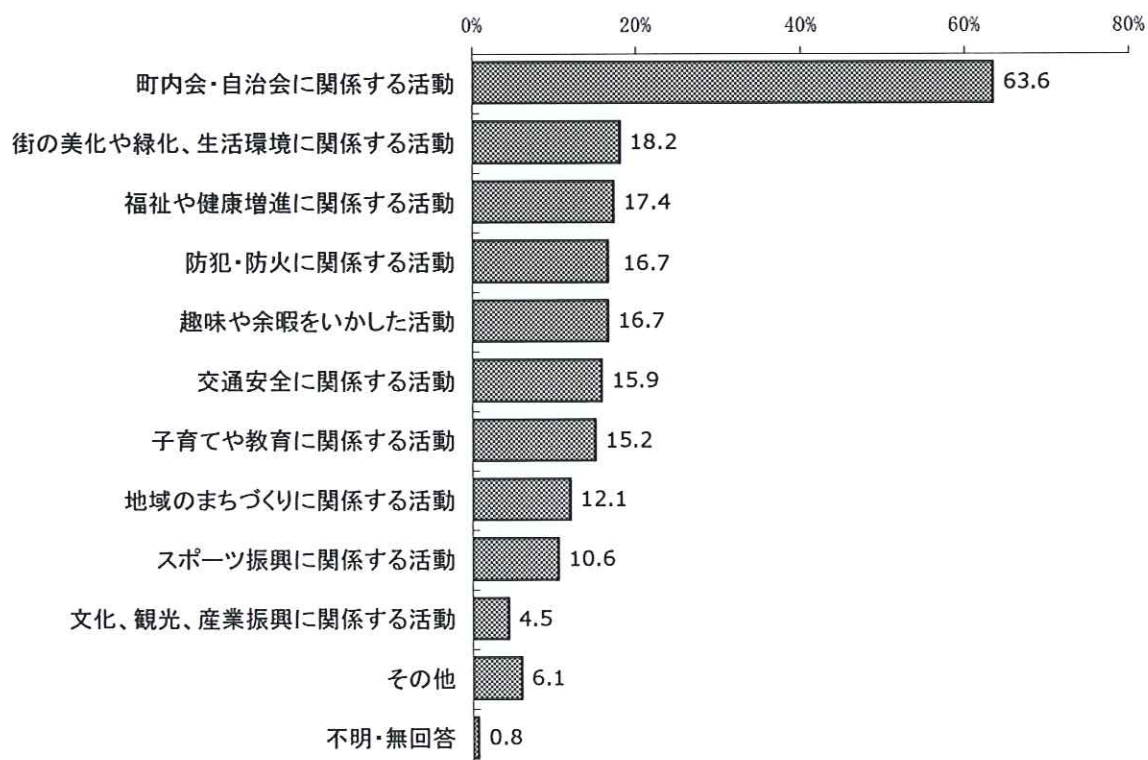


(2) 地域活動の団体の活動分野

地域活動の団体の活動分野は、「町内会・自治会に関する活動」（63.6%）が6割台半ばで最も多くなっている。（図2-8）

図2-8 地域活動の団体の活動分野

【基数：地域活動を行っている人(N=132)】

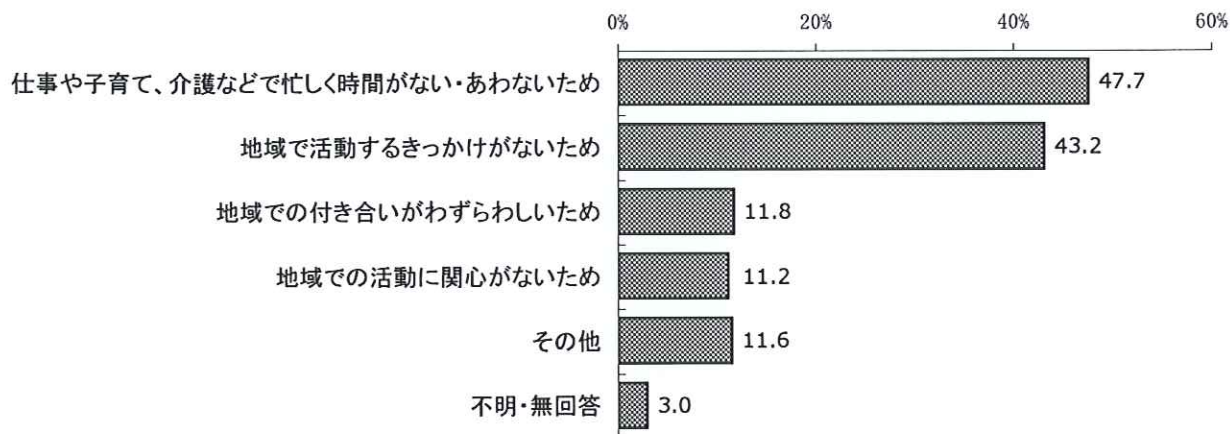


(3) 地域活動を行っていない理由

地域活動を行っていない理由は、「仕事や子育て、介護などで忙しく時間がない・あわないため」(47.7%)が約5割弱で最も多く、次いで、「地域で活動するきっかけがないため」が43.2%となっている。(図2-9)

図2-9 地域活動を行っていない理由

【基数:地域活動を「行っていない」人(n=465)】

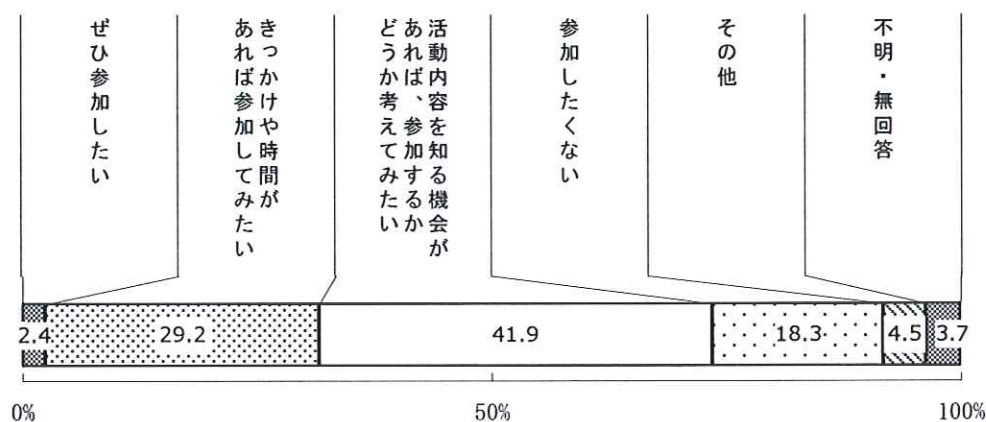


(4) 今後の地域活動参加意向

今後の地域活動参加意向は、「活動内容を知る機会があれば、参加するかどうか考えてみたい」(41.9%)が4割を超え最も多くなっている。また、「ぜひ参加したい」(2.4%)と「きっかけや時間があれば参加してみたい」(29.2%)をあわせた『参加したい』は、31.6%で3割を超えている。一方、「参加したくない」(18.3%)は約2割弱となっている。(図2-10)

図2-10 今後の地域活動参加意向

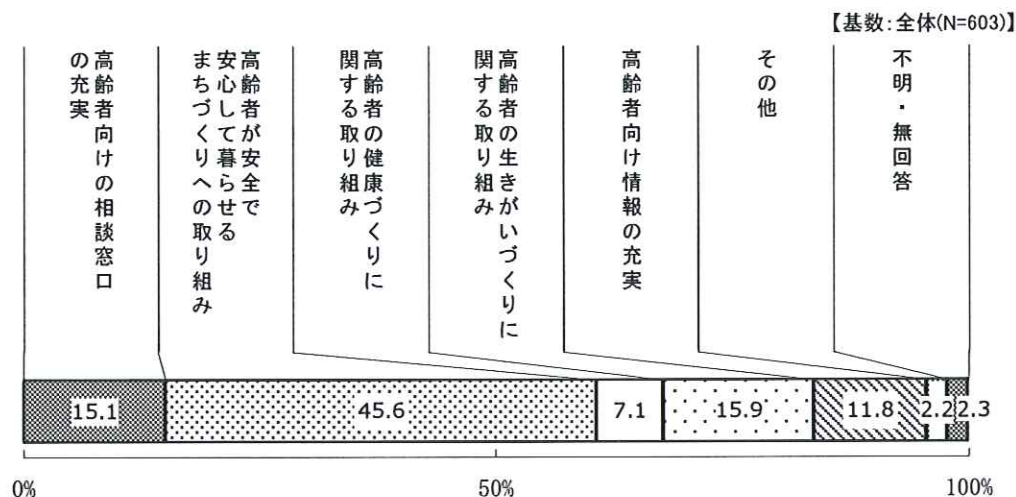
【基数:地域活動を「行っていない」人(n=465)】



(5) 高齢化社会に対して最重要視する取り組み

高齢化社会に対して最重要視する取り組みは、「高齢者が安全で安心して暮らせるまちづくりへの取り組み」（45.6%）が4割台半ばと特に多く、「高齢者の生きがいがいづくりに関する取り組み」（15.9%）と「高齢者向けの相談窓口の充実」（15.1%）が1割台半ばで続いている。（図2-11）

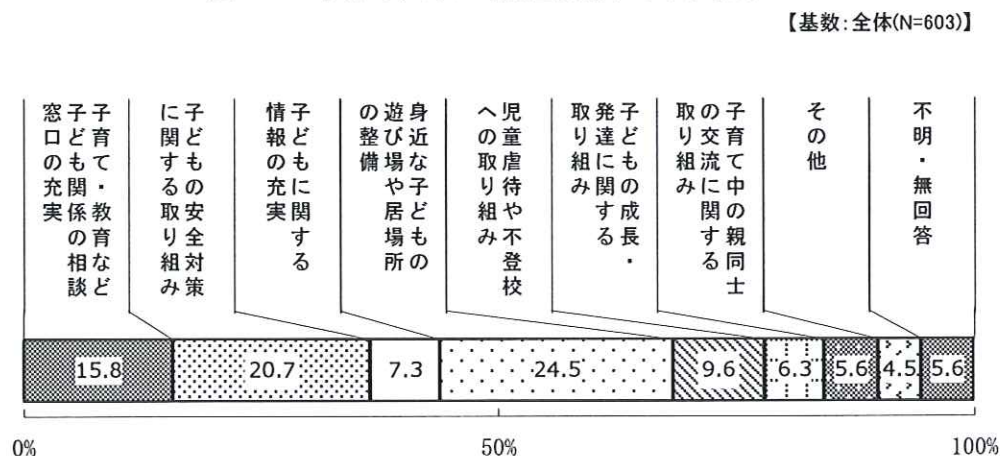
図2-11 高齢化社会に対して最重要視する取り組み



(6) 子育てに対して最重要視する取り組み

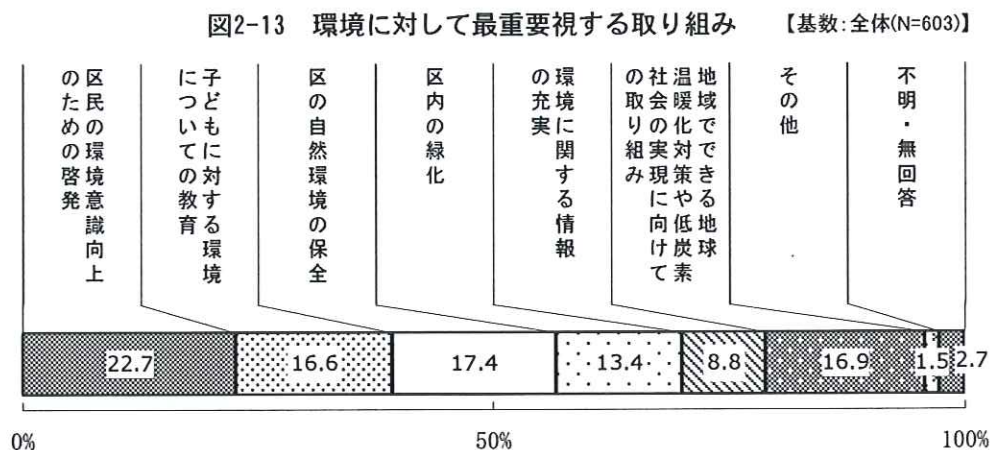
子育てに対して最重要視する取り組みは、「身近な子どもの遊び場や居場所の整備」（24.5%）が2割台半ばで最も多く、次いで、「子どもの安全対策に関する取り組み」（20.7%）、「子育て・教育など子ども関係の相談窓口の充実」（15.8%）と続いている。（図2-12）

図2-12 子育てに対して最重要視する取り組み



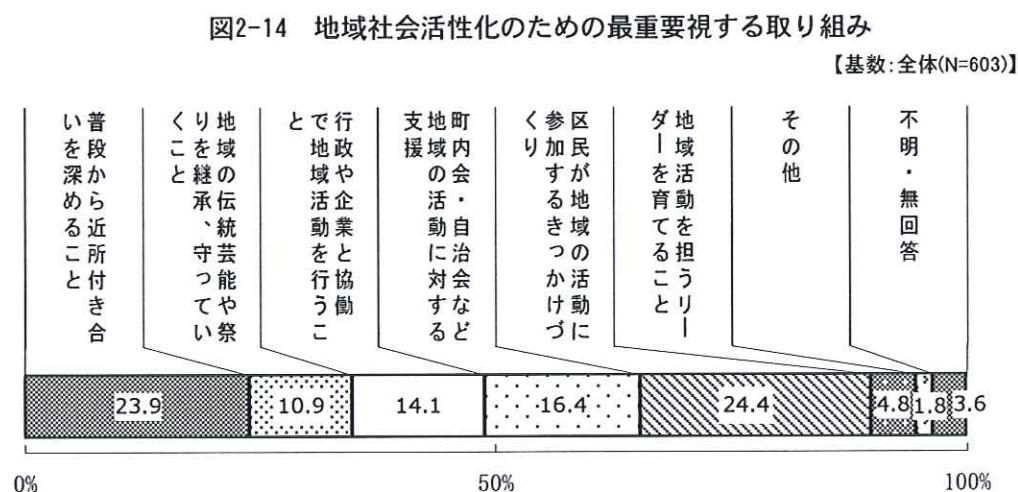
(7) 環境に対して最重要視する取り組み

環境に対して最重要視する取り組みは、「区民の環境意識向上のための啓発」(22.7%)が2割を超え最も多く、次いで、「区の自然環境の保全」(17.4%)、「地域でできる地球温暖化対策や低炭素社会の実現に向けての取り組み」(16.9%)、「子どもに対する環境についての教育」(16.6%)などとなっている。(図2-13)



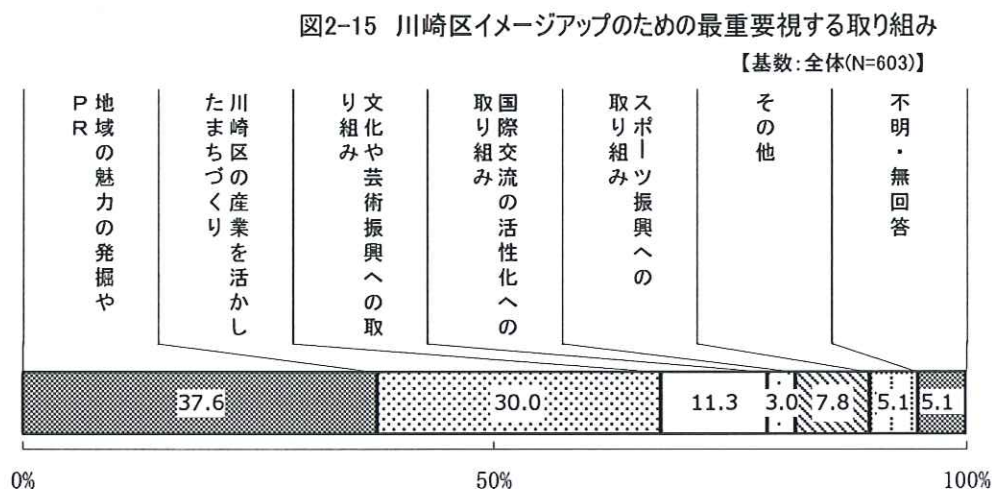
(8) 地域社会活性化のための最重要視する取り組み

地域社会活性化のための最重要視する取り組みは、「区民が地域の活動に参加するきっかけづくり」(24.4%)と「普段から近所付き合いを深めること」(23.9%)が、2割台半ばとなっている。(図2-14)



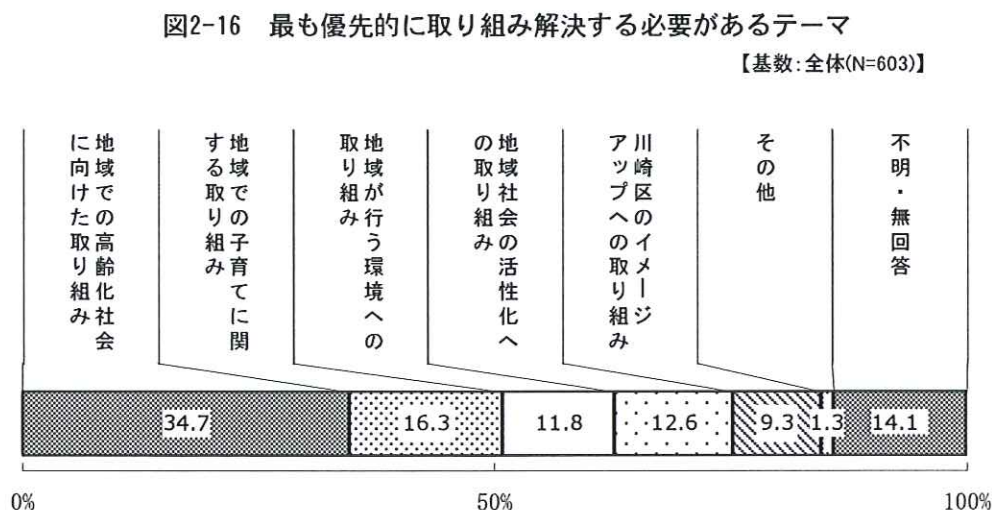
(9) 川崎区イメージアップのための最重要視する取り組み

川崎区イメージアップのための最重要視する取り組みは、「地域の魅力の発掘やPR」(37.6%)が約4割弱で最も多く、次いで、「川崎区の産業を活かしたまちづくり」(30.0%)が3割となっている。(図2-15)



(10) 最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマ

最も優先的に取り組み解決する必要があるテーマは、「地域での高齢化社会に向けた取り組み」(34.7%)が3割台半ばで最も多く、以下、「地域での子育てに関する取り組み」(16.3%)、「地域社会の活性化への取り組み」(12.6%)、「地域が行う環境への取り組み」(11.8%)、「川崎区のイメージアップへの取り組み」(9.3%)の順となっている。(図2-16)



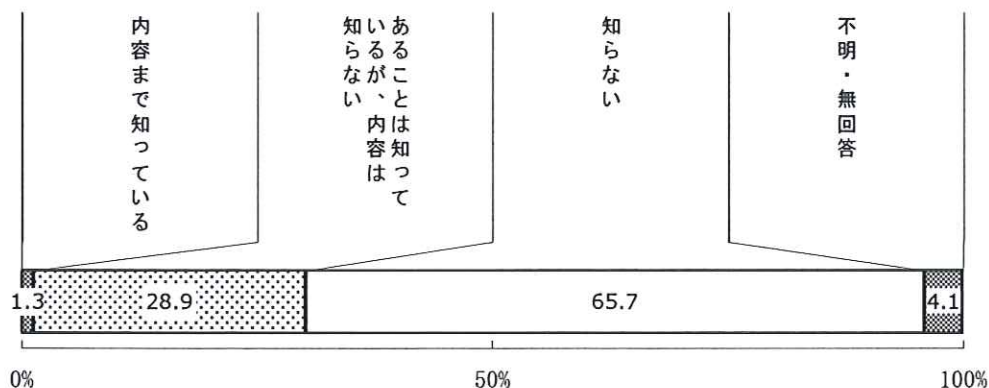
⑤ 川崎区区民会議について

(1) 川崎区区民会議の認知度

「あることは知っているが、内容は知らない」(28.9%)と「内容まで知っている」(1.3%)をあわせた、川崎区民会議を『知っている』人の割合(30.2%)は3割となっている。一方、「知らない」(65.7%)は6割台半ばを占めている。(図2-17)

図2-17 川崎区区民会議の認知度

【基数:全体(N=603)】

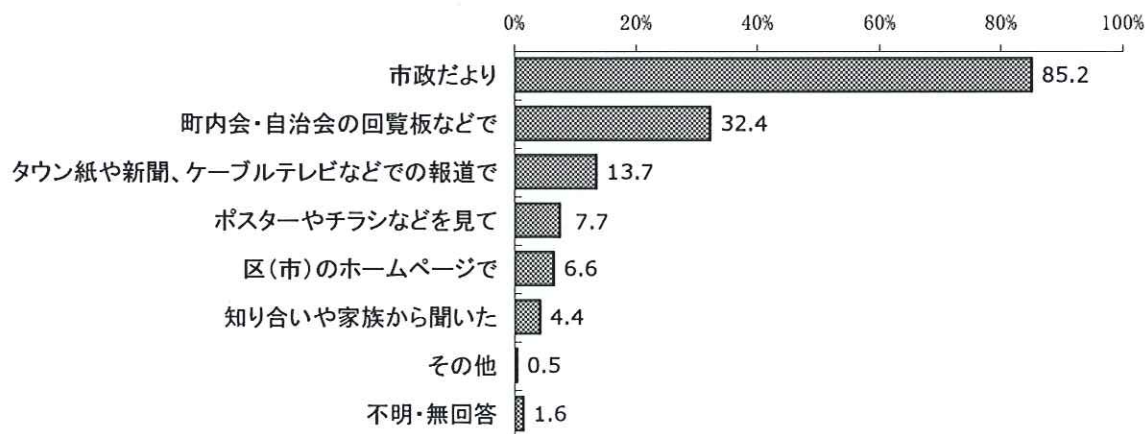


(2) 区民会議の認知経路

区民会議の認知経路は、「市政だより」(85.2%)が8割台半ばで特に多くなっている。次いで、「町内会・自治会の回覧板などで」が32.4%と続いている。(図2-18)

図2-18 区民会議の認知経路

【基数:区民会議を「知っている」人(N=182)】

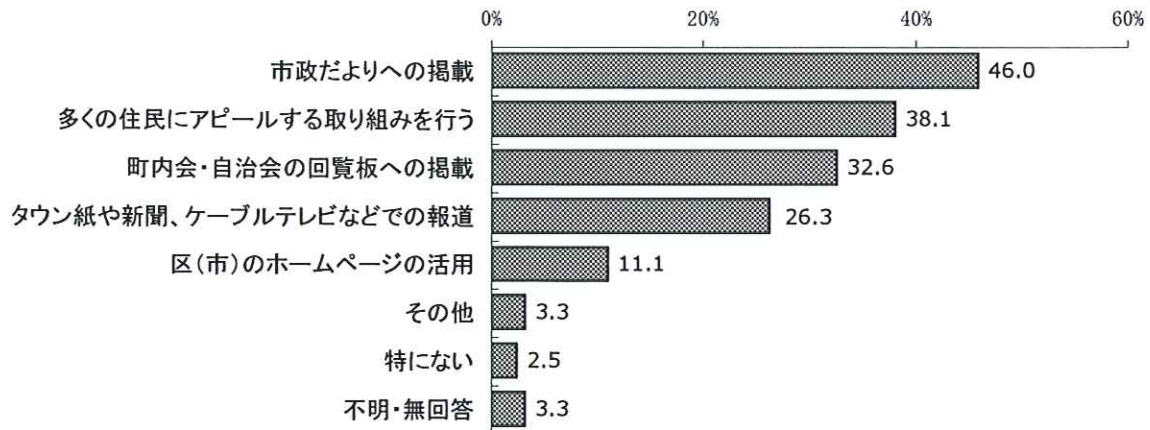


(3) 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法

区民会議の取り組みを広めるために有効な方法としては、「市政だよりへの掲載」（46.0％）が4割台半ばで最も多く、以下、「多くの住民にアピールする取り組みを行う」（38.1％）、「町内会・自治会の回覧板への掲載」（32.6％）、「タウン紙や新聞、ケーブルテレビなどでの報道」（26.3％）と続いている。（図2-19）

図2-19 区民会議の取り組みを広めるために有効な方法

【基数：区民会議を「知らない」人(N=396)】

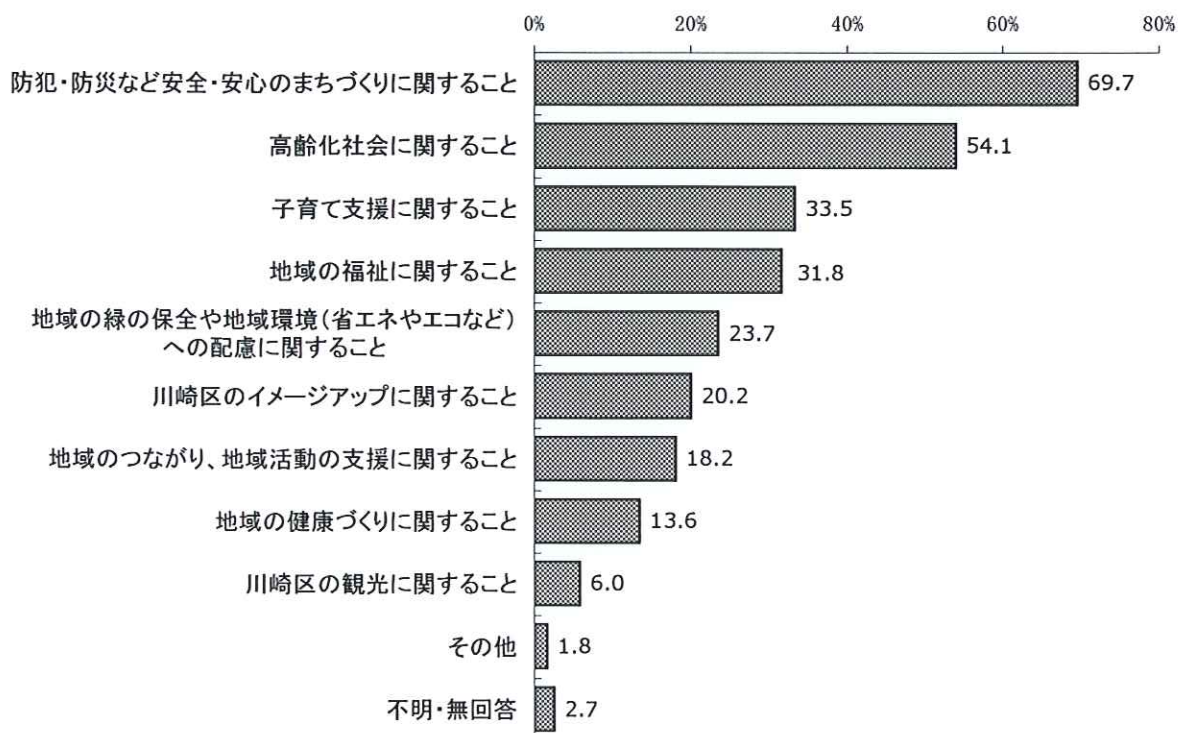


(4) 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの

区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいものは、「防犯・防災など安全・安心のまちづくりに関すること」（69.7％）が約7割で特に多く、次いで、「高齢化社会に関すること」（54.1％）が5割台半ばとなっている。また、「子育て支援に関すること」（33.5％）と「地域の福祉に関すること」（31.8％）が3割台で続いている。（図2-20）

図2-20 区民会議で取り上げる地域の課題として望ましいもの

【基数：全体(N=603)】

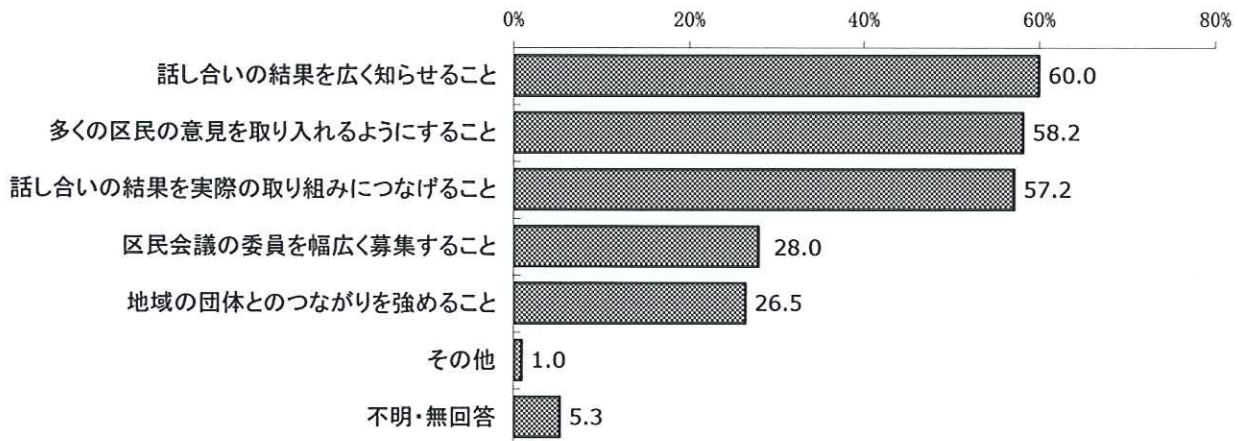


(5) 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの

区民会議での取り組みを活性化するために必要なものとしては、「話し合いの結果を広く知らせること」(60.0%)が6割で最も多く、「多くの区民の意見を取り入れるようにすること」(58.2%)、「話し合いの結果を実際の取り組みにつなげること」(57.2%)が僅差で続いている。(図2-21)

図2-21 区民会議での取り組みを活性化するために必要なもの

【基数:全体(N=603)】



川崎区区民アンケート調査＜概要版＞

平成22年 3 月

発 行 川崎区役所企画課

〒210-8570 川崎市川崎区東田町 8 番地

TEL 044-201-3267（直通）

FAX 044-201-3209